

2017年2月7日
京成電鉄株式会社

「人と環境に優しい鉄道」を目指して
「3033編成（8両）」
2月7日（火）営業運転開始

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生)では、新造車両である3033編成(8両)の営業運転を2017年2月7日(火)より開始いたしました。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、2003年から導入している3000形車両です。

車両の軽量化等による使用電力の削減、冷房装置・制御装置・補助電源装置にオゾン層を破壊しない冷媒の採用、全車両の車内照明にLEDの採用等、環境保全に配慮するとともに、2010年よりバリアフリーに配慮し、LCD(液晶)の車内案内表示器を採用しています。なお今年度は、3034編成(6両)、3035編成(8両)が3月までに営業開始する予定です。



2月7日(火) より営業運転を開始した3033編成